

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生物多様性地域戦略推進事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内の多様な自然環境、市民	意図	市内における生物多様性の保全と持続可能な利用を図る。
事業内容	「生物多様性ながれやま戦略」に基づき、重点拠点のモニタリング調査を行うとともに、グリーンフェスティバル等で生物多様性の大切さについて啓発を行う。また「グリーンウェイブ」による公共施設への植樹のほか、平成26年度からは一般社団法人千葉県トラック協会の支援を受け植樹を行っている。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年5月に生物多様性基本法が成立。この法律に基づき平成22年3月に本市独自の「生物多様性ながれやま戦略」（50年戦略）を策定。生物多様性に関する情報公開の場としてシンポジウム等を開催。平成23年7月から基盤情報整備のためのモニタリング調査を実施。このモニタリング調査は平成26年9月末で一旦の終了を迎え、平成26年度にモニタリング実施結果報告書を作成した。戦略については平成28年度に改定に着手予定。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	生物多様性の意味を理解している割合	24			
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	生物多様性情報の共有・蓄積、市民活動団体等との連携					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度	「生物多様性ながれやま戦略」に基づき、重点拠点のモニタリング調査を行うとともに、グリーンフェスティバル等で生物多様性の大切さについて啓発を行う。平成27年度は「グリーンウェイブ」で公共施設に植樹を行ったほか、一般社団法人千葉県トラック協会の支援を受け、木1号公園に310本の植樹を行った。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,888,238	5,936,719	6,354,693			
事業費(b)(円)		1,696,038	1,790,719	1,836,693			
うち一般財源		1,696,038	1,790,719	1,836,693			
職員給与費(c)(円)		4,192,200	4,146,000	4,518,000			
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.60			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	モニタリング調査によって得られた情報をまとめ、以降の戦略推進につなげる。また、市民団体との連絡を密に行い一層の普及に向けた協力体制を構築する。	③取組の課題	戦略の見直しを見据えた課題の抽出及びモニタリング調査地の拡大。
②今年度(H27)に実施した取組	平成28年度に予定している戦略の見直しに向けて、これまでの重点地区・拠点の他に、新たな拠点拡大のための予備調査を実施した。	④今後の改善計画	東部・南部地区へのモニタリング調査地の拡大と戦略の改定を行う。